

も り お か

発行 盛岡市子ども未来部子ども青少年課
住所 盛岡市神明町3番29号
盛岡市保健所4階
Tel 019-613-8354
Fax 019-652-3424

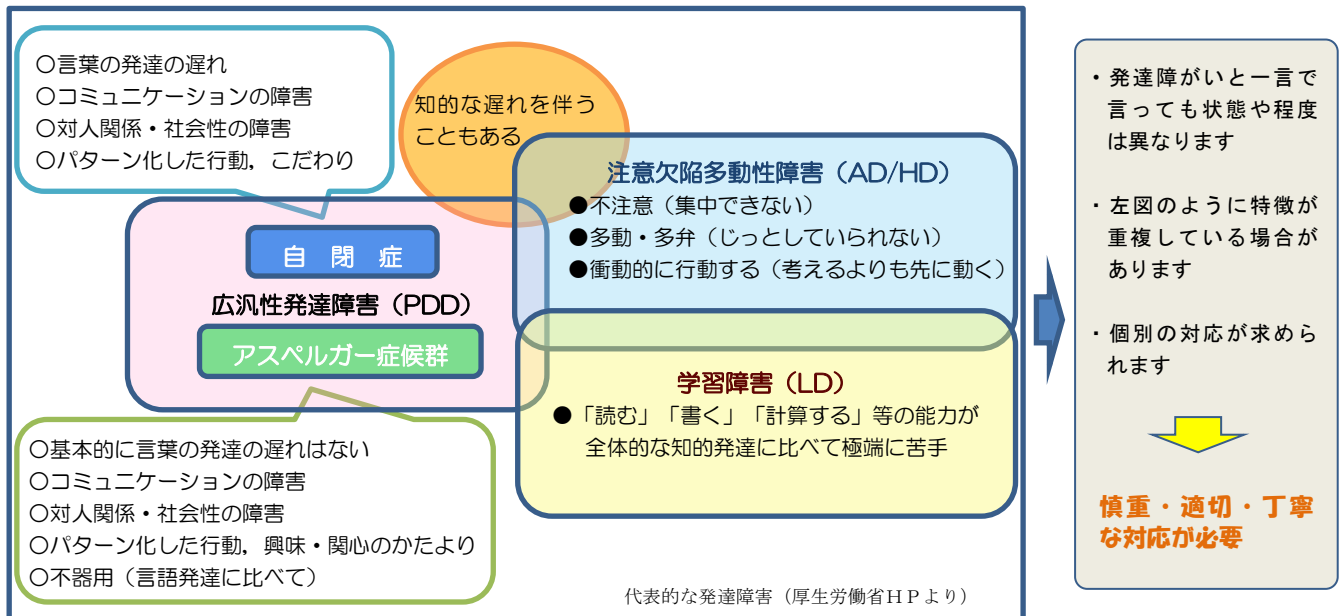
ユ ー ス シ タ ー



「発達障がい」という言葉を耳にする機会が増えてきたと思いますが、今回は、発達障がいはどのようなものなのか、また、発達障がいに関する現状と取り組みについて、ご紹介したいと思います。

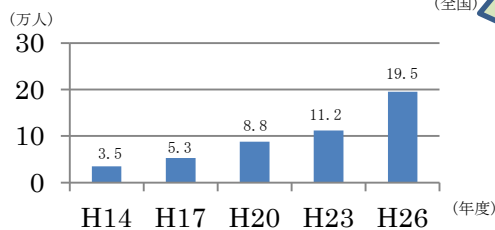
発達障害者とは(厚生労働省HPより)

発達障害(自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの脳機能の障害で、通常低年齢で発現する障害)がある者であって、発達障害及び社会的障壁により日常生活または社会生活に制限を受けるもの
(発達障害者支援法第2条より引用)



発達障がいに関する相談件数の推移

診断やカウンセリング等を受けるために医療機関を受診した発達障害者数(厚生労働省HPより)



[制度的背景]

発達障がいのある方は特性に応じた支援を受けることができれば十分に力を発揮できる可能性があります。しかし、従来は支援体制が不十分であるとともに、社会の中で障がいとしての認識が必ずしも一般的ではなく、発見や適切な対応が遅れがちでした。そこで、発達障がいについて社会全体で理解して支援を行っていくため平成17年4月「発達障害者支援法」が施行されました。

障がい関連の各制度において発達障がい位置付けられ、必要なサービスが提供される仕組みが整備されました。

行政の主な取り組み

○『岩手県子ども・若者自立支援ネットワーク会議』の設置

(目的) 青少年支援に関連する分野の関係機関・団体が連携し、それぞれの専門性を生かした効果的で円滑な支援を実施
(内容) 教育、医療、保健福祉関係、民間支援団体、労働関係機関、矯正更生保護機関等による

○『岩手県発達障がい者支援センター』

(目的) 困難ケースへの直接的支援の実施や地域支援の構築を図る

(内容) 地域訪問支援モデル事業の実施 センターの発達障がい地域支援マネージャーによる市町村等への技術支援や各種研修会による支援者の育成

家庭支援の取組み

発達の気になる子や発達障がいをもつ子どもの育てにくさ、育児困難

保護者の抑うつ症状等のメンタルヘルスの問題にも深く関係

家族ひいては社会全体の機能低下にもつながる問題

地域による障がいの
ある子どもへの支援・
保護者支援の充実
が求められる

○「家族の集まり」

同じ思いや悩みを抱える家族が、親どうしの研修や交流を通して、子育ての体験を共に分かち合いながら、子どもたちや親の成長を支える集まり（家族団体）です。

家族の集まりの詳細については、以下の岩手県ホームページよりご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/shougai/kokoro/1004083.html>

○「ペアレントメンター」

ペアレントメンターとは…

発達障がいの子どもを育てた親が、その経験を活かし、子どもが発達障がいの診断を受けて間もない親などに対して共感的なサポート、助言を行う者（厚生労働省 HP より）

岩手県内では「ペアレントメンター」が他の保護者の相談相手となり、悩みの共感や助言などを行っています。

詳細は、以下の JDDnet（日本発達障害ネットワーク）いわてのホームページよりご覧いただけます。
<http://jddiwate.web.fc2.com/>

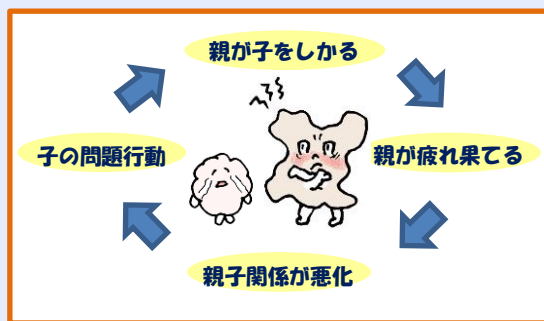
○「ペアレントトレーニングにおける考え方」について

ペアレントトレーニングとは…

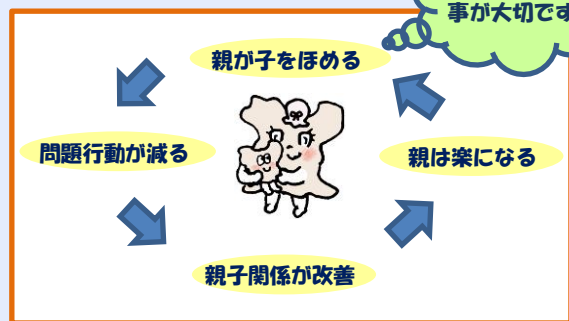
発達障がいの子を持つ親が、自分の子どもの行動を理解したり、発達障がいの特性をふまえた褒め方やしかり方を学ぶための支援（厚生労働省 HP より）

親が子どもとのかかわり方を学ぶ「ペアレントトレーニング」の考え方には、以下の図のようなものがあります。親子関係の良い循環が生まれるよう支援していきましょう。また、支援者と子どもとの関わりの中でも有効な考え方です。

親子関係の悪循環



親子関係の改善



良い行いはその
場ですぐ褒める
事が大切です



詳しく知りたい方は「いわてこども発達支援サポートブック」をご参照ください
(岩手県ホームページのURL)

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/fukushi/shougai/kokoro/1004094.html>

岩手県HPよりダウンロードできます



〈もりおかユースネット登録団体の活動紹介〉

accommodation(配慮・適応)を common(共通)に

認定NPO法人accommon(アコモン)

アコモンは、発達障がいなど(診断の有無を問わず)により集団生活が苦手な子ども・大人と家族が、社会の一員として充実した生活が送れるようになることを願い、本人と家族で活動をしています。

「困っているけどどこに相談したらいいかわからない」、「病院の受診を申し込んだけれど何カ月も待たなければならず不安」という本人や家族が、悩みや情報を共有し、体験を通して成長できる機会を作っています。

子ども本人と家族		大人の本人と家族		
まなびのHIROBA タブレット・プリント学習・ボードゲーム・プログラミングなど学習支援活動	あそびのHIROBA エクササイズ・クッキング・工作・野外活動など体験のための活動	相談・居場所「あいのま」 保護者や本人からの相談対応 保護者や本人への居場所の提供 ※要予約※ 会員 500円 一般 1000円 相談 30分 } につき 居場所 1回	TSUDOI(座談会) 大人の本人と家族(父母・祖父母・きょうだい)が気兼ねなく安心して話せるおしゃべりの場	勉強会/ワークショップ 本人や保護者から上がったテーマで専門家による講義 支援グッズなどのワークショップ
災害時のライフハック 非常食体験・防災グッズ作り・避難所対策など	キャリア学習 お仕事の体験・働き方やお仕事についてのお話・高校めぐりなど	ペアレント・トレーニング 同じ立場の保護者としての、ペアレント・トレーニングを開催		

*アコモンの現在の活動です。(2020年3月現在)
 同じ立場の保護者がボランティアで運営しています。チラシやホームページも手作りです。
 相談は、ペアレントメンターや相談支援の研修を受けたものが対応しています。



異年齢の交流
(写真はまなびのHIROBA)

子どもたちの作品を
復興バザーで販売

居場所「あいのま」を利用
(学校に行けない日など)

WSで原案を作成した
みんなの受診サポート手帳

アコモンは現在、幼児から大人までの本人と家族33組の正会員で活動し、個人や企業など34組の賛助会員のみなさまに活動を応援いただいています。ワークショップを経て岩手県・岩手県医師会に発行いただいた「みんなの受診サポート手帳」のように、多くのみなさまのご協力なしでは実現できないこともあります。

病院や相談機関、療育機関、就労支援など様々な分野とも協力して活動を進めておりますので、応援よろしくお願いたします。

*2019年9月に認定NPO法人を取得いたしました。いただいた寄付金(賛助会費含む)は、税控除対象となります。物品の寄付も受け付けております。

ニンティエヌピーオーハウジンアコモン
 認定NPO法人accommon 

〒020-0022 岩手県盛岡市大通三丁目7-21-202

TEL/FAX (019)656-7067
 イベントのない平日10~16時

Email info@accommon.jp
 ホームページ https://accommon.jp
 LINE 公式 @accommon



盛岡市子ども未来基金



一般社団法人 ふたば

子ども・若者・大人が安心と好奇心の基盤作りを応援する目的として、「学習」「相談」「食」「運動」「自然体験」「地域探索」の6つのプログラムを組み合わせた学習支援や体験学習を城西地区で毎月開催しています。色々な人や物事、社会と関わることにより試行錯誤する体験を通して、気づき、学び、振り返り、自分を知る機会を提供します。

盛岡みなみ教会 子ども食堂の会

盛岡みなみ教会を会場に、月2回の子ども食堂を開催しています。教会という誰もが集まりやすい場所で、宿題や読書など自由な時間を過ごした後、子どもも大人もみんなで食卓を囲みます。食事の後は子どもたちも片付けをしっかりお手伝い。子どもや親だけでなく地域の大人も参加し、子どもの居場所や地域コミュニティの場にもなっています。

○ 令和2年度子ども・子育て支援事業の募集について

市では、現在令和2年度子ども・子育て支援事業を募集中です。締切は令和2年3月26日（木）です。募集に関しての詳細は、盛岡市公式HPを御覧ください。「令和2年度盛岡市子ども・子育て支援事業」又は広報ID「1028304」で検索できます。



【参加者の声】

勉強でわからないところを教えてもらえて嬉しかったです。次回もまた来て一緒に勉強をしたいです！



【参加者の声】

みんなでごはんを食べることができて楽しかったです。料理はとても美味しく、もっと食べたいです。

編集後記

今回は、発達障がいについて取り上げました。近年、発達障がいという言葉が広く知られるようになりましたが、発達障がいの子ども・若者は生きづらさを抱えていることが多く、家族や支援者が関わるポイント・方法を知ることが本人の力を発揮できる第一歩になると思います。

もりおかユースターでは、今後も子ども・若者に関わる情報を発信していきますのでよろしくお願いたします。

